

2023年度事業報告

芳香消臭脱臭剤協議会

自 2023年10月 1日

至 2024年 9月30日

概 要

当協議会設立の趣旨に則り、本年度実施した主な事業は次の通りです。

1. 「一般消費者用芳香・消臭・脱臭剤の自主基準」の実施徹底と一層の充実
2023年度承認件数51件
適合マーク承認件数777件（2023年度末現在）
2. 未加入企業に対する入会勧誘
2023年度入会件数4社（退会3社）
会員数98社（2023年度末現在）
3. 会員相互の理解と目的意識の高揚のための場の設定検討
第52回研修会開催（会員企業41社／から158名参加（※内21社55名リアル参加））
第53回研修会開催（会員企業42社／から183名参加）
4. 関係官公庁および関係諸団体との連携の継続
経済産業省：「家庭用品規制法の検討対象物質選定スキーム」に関する意見提出
日本エアゾール協会：ガス抜きキャップ（中身排出機構）等の装着に関する調査
5. 一般消費者ならびに関係各機関・業界に対する広報・啓発活動
適合マーク広告など
6. 2024年1月1日能登半島地震における対応
経産省からの要請対応の実施。会員の被害状況確認、および、物資支援。
被害状況確認：1件工場稼働停止
物資支援：エステー、小林製薬で対応

本年度は理事会5回を開催し以下の事業を行った。

1. 「一般消費者用芳香・消臭・脱臭剤の自主基準」の実施徹底と一層の充実

(1) 適合マーク使用状況 (2023年度)

- 申請書承認 51件 総承認件数777件 (2024/9/30現在)
- 更新届受理書 163件
- 変更届受理書 39件

2. 未加入企業に対する入会勧誘

(1) 会員動向

前期末 97社、入会4社、退会3社、今期末98社

- 入会 株式会社NAMAN
株式会社センターバレイ
東洋製罐グループホールディングス株式会社
株式会社SURE SYSTEM
- 退会 株式会社ソルベックス
株式会社TSJ
丸福油脂工業株式会社

3. 会員相互の理解と目的意識の高揚

(1) 議事録・関連情報の配付

役員会、理事会の議事録および関連情報を会員に配付した (第239回～第243回)。

(理事会での主な議事内容)

- 2023/12/18 第239回理事会 (オンライン開催)
 - ・厚生省主催の家庭用品規制法における有害物質選定方針に関して情報共有
 - ・価格転嫁促進に関して情報共有
 - ・総会書面決議に関して報告
 - ・事務局所在の移管に関して協議
 - ・理事会、研修会含めた年間行事予定の確認
- 2024/2/16 第240回理事会 (オンライン開催)
 - ・厚生省主催の家庭用品規制法における有害物質選定方針に関して情報共有
 - ・2024年1月1日能登半島地震における対応に関して報告
 - ・事務局運営の見直しに関して協議
 - ・今年度研修会に関して協議
- 2024/5/15 第241回理事会 (リアル開催)
 - ・事務局所在の移管に関して協議
- 2024/7/12 第242回理事会 (オンライン開催)
 - ・日本エアゾール処理対策協議会に関する報告
 - ・研修会の実施内容について協議
 - ・総会冊子の電子化、総会の開催形式に関して協議
 - ・事務局所在の移管に関して協議

●2024/9/19 第243回理事会（オンライン開催）

- ・研修会に関して報告
- ・総会冊子の電子化、総会の開催形式について協議
- ・次回総会に関して協議

<芳香消臭脱臭剤協議会ホームページに掲載した関連情報>

- [2024.09.30] 『第242回理事会議事録』を会員ページに掲載しました。
- [2024.06.07] 『第241回理事会議事録』を会員ページに掲載しました。
- [2024.04.17] 『第240回理事会議事録』を会員ページに掲載しました。
- [2024.01.23] 『第239回理事会議事録』を会員ページに掲載しました。
- [2024.01.23] 『第238回理事会議事録』を会員ページに掲載しました。

(2) 第36回通常総会開催

第36回通常総会を書面決議にて開催した

- 第1号議案 2022年度事業報告の件
- 第2号議案 2022年度収支報告の件
- 第3号議案 2023年度事業計画の件
- 第4号議案 2023年度収支予算の件
- 第5号議案 自主基準の改定

について承認を得る。

(3) 研修会の開催

2022年度に引き続き、オンラインとリアル双方のメリットを活かすため、5月の1回目研修会はハイブリッド形式での開催とした。研修会場にご来場いただいた方には、実際に香りを体験いただいたり、新しいデジタル体験をしていただくことができ、『リアル』の良さを改めて感じる事ができた。また、研修会後の懇親会を実施することで、会員同士の交流、情報交換も活発にできた。9月の2回目研修会は、海外でご活躍されている講師の方にお話いただくこともあり、オンラインでの実施とした。このように海外と繋いでグローバルな情報を会員皆様へ発信することができるのは、『オンライン』の良さであると考えている。また、2回目研修会では、会員アンケートから要望が多かった試験の事例紹介を基礎だけでなく、先進的な取り組みを含めて紹介することができた。回を重ねるたびに、参加人数が増えたことから、会員皆様の研修への期待の高さを感じ、今後ともオンラインとリアル双方のメリットを活用しつつ、時代の流れや会員のニーズを捉えた演題を検討することで、研修会の充実を図っていきたい。

第52回研修会

日時：2024年5月15日

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART (リアル・オンライン同時開催)

参加人数：41社 158人 (内21社 55名リアル参加)

①：「におい・香りを手軽に扱えるテクノロジー『におい提示装置』とその活用事例の紹介」

講師：ソニー株式会社 インキュベーションセンター 嗅覚事業推進部
牧 祖式 (まき ひろすけ) 様

②：「香粧品香料の基礎知識」

講師：曾田香料株式会社
鈴木 文香 (すずき ふみか) 様

第53回研修会

日時：2024年9月19日

場所：(オンライン開催)

参加人数：42社 183人

①：「香りや嗅覚に関係する海外のビジネスや技術の動向」

講師：Webrain Think Tank LLC
Masa Iwasaki (まさ いわさき)様

②：「においに関わる試験の事例紹介」

講師：株式会社環境管理センター におい・かおり Lab
森 孝之 (もり たかゆき) 様

4. 関係官公庁及び関係諸団体との連携の継続

(1) 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課 化学物質安全対策室

- ・シックハウス検討会再開について情報収集
- ・有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律 (家庭用品規制法) について情報収集

(2) (社) 日本エアゾール協会

- ・中身排出機構等の対策推進
- ・2023年度エアゾール生産量、中身排出機構の実態調査の協力

(3) 日本広告審査機構 (JARO)

- ・会誌入手、情報収集

(4) その他各種団体などからの問い合わせ

相手先	件数	内容	件数
会員企業	約 140	自主基準	約 3
非会員企業	約 25	入・退会	約 12
報道機関	0	名簿・会員照会	20
官公庁・公共機関	4	表示	約 4
業界団体	1	消臭方法	約 7
その他	0	適合マーク	約 55
		試験方法	約 5
		製品照会	0
		市場	約 1
		その他	約 63
合計	約 170件	合計	約 170件

昨年度約 60 件：前年比 283% ※カウント方法を昨年度より変更

5. 一般消費者ならびに関係各機関・業界に対する広報・啓発活動

(1) 適合マーク認知度アップ活動

＜適合マークの啓発＞

- ・日本消費経済新聞のマーク特集に掲載

(2) ホームページ充実

- ・議事録の掲載等を実施した。
- ・研修会に関する案内情報を掲載した。

以上